

## (1) 共産主義者同盟マルクス主義戦線派・関係

- 共産主義者同盟労働者革命派結成準備会……………68年・第七回大会からの分派  
機関誌『労働者革命』第1号(共産主義者同盟労働者革命派準備会 1968)
- レーニン主義者協議会……………68年  
機関誌『レーニン主義』第1号～3号・臨時号(レーニン主義者協議会 1968～1969)  
CD—R『PDF レーニン主義者協議会 翻刻資料集』(琉球独立党教育出版社)
- 前衛編集委員会(前衛派)……………68年  
機関紙「前衛」第1号～〇号(前衛社)
- 安保粉砕共闘会議……………69年  
機関誌『安保共闘』第1号～〇号(「安保共闘」編集委員会・前衛社 1969)
- 青年共産同盟……………68年  
機関誌『武装』第1号～6号(青年共産同盟 1969)  
機関誌『闘いと学習』NO1～(首都圏行動委員会 1975)
- 共産主義武装行動委員会……………70年青年共産同盟の改組  
機関誌『武装』7号～(前衛社～1973)
- 共産主義者同盟(前衛・労働者革命委員会)・水沢史郎・小山 理71年・前衛編集委員会の分派  
機関誌『革命権力』第1号～3号(前衛・労働者革命委員会・黎明社 1971～1973)
- 共産主義者光……………73年～87年・前衛編集委員会の改組  
機関誌『世界革命』創刊号～6号(前衛編集委員会・共産主義者党・前衛社 1970～)  
機関紙「前衛」〇号～263号(前衛編集委員会・共産主義者党・前衛社 1968～1982)  
機関誌『前衛』第264号～328号(現代企画 1982～1987)  
機関誌『ネットワーク』第329号(『前衛』改題)～333号(現代企画社 1987～1988)  
季刊『権力』第1号～3号(「権力」編集委員会・風塵社 1971～1972)  
『坂内仁遺稿集 長期にわたる持久戦』(坂内仁遺稿集刊行委員会 1996)
- 自主管理研究所……………岩田 弘  
『自主管理社会主義』第1号～9号(1979～1983)  
『労働者管理と社会主義』(川上忠雄・岩田 弘・矢吹 晋・社会評論社 1975)
- 自主管理研究会……………82年佐藤浩一・成島道官・川上忠雄  
『社会観の選択 マルクスと現代思想』(佐藤浩一・成島道官・川上忠雄他・社会評論社 1987)
- 労働者共産主義委員会……………68年・通称一怒涛派  
機関誌『共産主義革命』第1号～7号(労働者共産主義委員会・怒涛社 1971～1979)  
機関紙「怒涛」第1号～160号(労働者共産主義委員会全国委員会・怒涛社 1969～1979)  
機関誌『The PROLETARIAN CORRESPONDENCE』NO1～NO11(DOTO-SYA1971)  
『学生運動の発展のために革命的運動の戦列を強化せよ!』(労働者共産主義委員会・怒涛社 1973)  
『沖縄本土プロレタリアートの革命的結合のために』(PR文庫第1号 1971・9)  
『日本政府の「出入国管理」と在日朝中人民に対する抑圧』(PR文庫第2号 1972・4)

『日本政府の釣魚台列島領有策動に反対する』(PR文庫第3号 1972・6)

『賃金闘争と労働者階級解放の闘い』(PR文庫第4号 1973・2)

『三里塚・朝鮮・天皇訪米問題における労共委の主張』(PR文庫第5号 1975)

●**共産主義学生戦線**……………**68年**

機関紙「…」

①**労働者共産主義委員会中央委員会(→全国委員会)**

機関紙「怒涛」第155号～199号(労働者共産主義委員会全国委員会 1975～1979)

②**労働者共産主義委員会臨時中央委員会**……………**75年・怒涛派の分派**

機関紙「怒涛」第155号～159・160号(労共委臨時中央委員会・怒涛社 1977・9～12)

③**労働者共産主義委員会神奈川県委員会**……………**75年・怒涛派の分派**

機関誌『プロレタリア革命』準備号・第1号・2号(労働者共産主義委員会神奈川県委員会 1975～)

④**労働者共産主義委員会再建準備中央委員会**……………**75年・怒涛派の分派**

●**労働者共産主義委員会**

機関紙「労働新報」第1号～3号(労働者共産主義委員会・怒涛社 1978)

⑤**日本革命党**……………**75年・怒涛派(愛知県G)の分派・2018年再建**

機関紙「進路」……………(1977～1987)

機関紙「進路」復刊1号～4号(2018～)

## (II)共産主義者同盟赤軍派・関係

●**共産主義者同盟赤軍派**……………**69年・第二次フントの分派**

機関誌『現代革命』I・II・III(……1969)

機関誌『赤軍』NO1～NO8(NO3欠号・共産主義者同盟赤軍派 1969～1970)

機関紙「赤軍」発刊準備号・創刊1号～7号・号外(共産主義者同盟赤軍派・開拓社 1969～)

機関誌『赤軍』特別号(共産同赤軍派日本委員会 1970)

機関誌(紙)「赤軍」8号(共産同赤軍派日本委員会 1971)

機関誌『蜂起』第1号～3号(共産同(赤軍派)・関西 1969)

機関誌『BOCCTAHNE』第1号～(共産同赤軍派茨木県委員会 1970)

『赤軍 共産主義者同盟赤軍派政治理論機関誌総集』(共産同赤軍派(革命戦争編集委員会)1973)

●**全日本革命戦線(準)**……………**70年**

機関紙「革命戦線通達」第1号～9号(全日本革命戦線(準)1970)

機関紙「革命戦線」第10号(「革命戦線通達」改題)～(全日本革命戦線(準)全国委員会 1970)

機関誌『赤い星』第1号・2号(革命戦線関西地方委員会、革命戦線全国委員会 1971)

●**統一赤軍(連合赤軍)**……………**71年・共産同赤軍派+日共革命的左派**

機関紙「銃火」創刊号(「赤軍」政治宣伝部 1971)

●**日本赤色救援会**……………**71年**

機関誌『もつぷる』第1号

機関誌『もつぷる通信』第1号～

機関誌『レジスタンス』第1号～(関西もつぷる社……)

『3・31人民集会特集 もつふる通信特別号』(1 日本赤色救援会 1972)

### ●オリオン社

機関誌『オリオン通信』第1号～8号(1976～)

- .....
- 『世界革命戦争への飛翔』(共産主義者同盟赤軍派編・三一書房 1971)  
『アラブゲリラと世界赤軍』(PFLP、共産同赤軍派・京大出版会 1971)  
『蜂起貫徹 戦争勝利・大菩薩冒頭陳述集』(京大出版会 1972)  
『赤軍詩集』(福岡信孝・私家版 1972)  
『ハイジャックと豆の木 爆弾の季節』(関西大学工学部 1972)  
『獄中赤軍派の彼へ キューバのさとうきび刈り、チリの医療列車からの手紙』(中野綾子・市民書房 1972)  
『英雄兵士の物語-国家論の発展のために』(上野勝輝・査証出版 1973)  
『銃よ、おまえは誰のために』(松田 久・査証出版 1973)  
『遺稿 森恒夫』(査証出版 1973)  
『日本における労働者階級の状態(上)』(坂東国男・査証出版 1975)  
『銃撃戦と肅清 森恒夫自己批判全文』(高沢皓司編・新泉社 1984)  
『新左翼運動獄中書簡集』(信濃太郎編・新泉社 1994)  
『プロレタリア革命党建設と我々の緊要の任務(上)』(八木健彦 1972)  
『ポーランドの階級闘争と反官僚革命の綱領問題』(萩尾 遼＝西浦隆男 1983)  
『ユーゴスラヴィア労働者自主管理社会主義の歴史的経験について』(萩尾 遼 1984・復刻 2010)  
『やられたらやりかえせ 実録釜ヶ崎・山谷解放闘争』(釜共闘・山谷現闘委編集委員会・田畑書店 1974)  
『「赤軍」ドキュメント—戦闘の向示録』(新泉社 1978・増補版 1984)  
『独裁問題と日本革命の権力問題 不破哲三「科学的社会主義と執権問題」批判』(植垣康博 1984)  
『兵士たちの連合赤軍』(植垣康博・彩流社 1984)  
『連合赤軍事件関係記事集成』(1～5)(高沢皓司編・高沢オフィス 1988)  
『連合赤軍 27 年目の証言』(植垣康博・彩流社 2001)  
『証言 連合赤軍』第1号～10号(連合赤軍事件の全体像を残す会・情況出版 2004～)  
『連合赤軍 証言』(連合赤軍事件の全体像を残す会・皓星社 2013)  
DVD『実録・連合赤軍 あさま山荘への道程』(CCRE2009)

### ●共産主義者同盟赤軍派東京都委員会

機関誌『再生にむけて』第1号～4号(共産同赤軍派東京都委員会 1972)

『共産同赤軍派再建—労働者階級の前衛党建設へ・共産同赤軍派臨時総会報告集』(1973)

### ●共産主義者同盟赤軍派再建準備委員会

機関誌『闘争』第1号・2号(共産同赤軍派再建準備委員会 1973・1974)

機関誌『人民の軍隊』第1号(共産同赤軍派関西地方委員会 1972)

### ●共産主義者同盟赤軍派革命戦争編集委員会

機関誌『革命戦争』第1号・2号(共産同赤軍派(革命戦争編集委員会) 1973・1974)

●共産主義者同盟赤軍派釜ヶ崎地区委員会.....72年・若宮正則

機関紙「釜ヶ崎通信」第1号～(共産同赤軍派釜ヶ崎地区委員会 1972)

機関紙「銃火」第1号～

●共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会……………72・年花園紀男

『総括資料集』(共産主義者同盟赤軍派日本労働党建設準備委員会・花園紀男・1972)

●日本共産党(正統)神奈川県大和市地区委員会……………75年・花園紀男

機関紙「民族の旗」1号(1975)

●反覇権通信編集委員会……………1975～

機関紙「反覇権通信」第1号～〇号

●共産主義者同盟赤軍派〇〇地区委員会……………71年・梅内恒夫G

『赤軍への招待』(1971)

『共産同赤軍派より 日帝打倒を志す すべての人々へ』(梅内恒夫・「蝶恋花通信」蝶恋花舎 1972)

●共産主義者同盟赤軍派……………=通称・プロレタリア通信派・75年・大久保文人

機関誌『プロレタリア通信』創刊準備号～(共産同赤軍派中央書記局 1973)

●プロレタリア独裁編集委員会……………大久保文人・松平直彦・75年

●共産主義者同盟(プロレタリア独裁編集委員会)

機関誌『プロレタリア独裁』第1号・2号(プロレタリア独裁編集委員会 1975)

機関紙「プロレタリア独裁」第1号～〇号

●共産主義者同盟赤軍派日本委員会……………74年・高田英生

機関紙「赤軍」復刊9号～12号(共産主義者同盟赤軍派日本委員会 1973)

機関誌『世界気象観測報告書』1～3(「赤軍」13～15号・気象観測協会WRA1973)

機関誌『関西赤軍』(共産同赤軍派関西地方委員会・日本委員会分派 1977))

●共産主義者同盟赤軍派(プロレタリア革命派)

●共産主義者同盟赤軍派(プロ革)……………74年・塩見孝也・八木健彦・永田洋子・植垣康博・坂東國夫

機関誌『塩見孝也論叢』第1号～9号(査証出版 1972～1974)

『一向過渡期世界論の防衛と発展のために』(塩見孝也・査証出版 1975)

機関誌『赤軍』再刊準備1号(『論叢』9号)～4号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)1974～1986)

機関誌『愛国者』第1号～〇号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)…)

機関紙「赤軍」再刊準備号～再刊準備4号(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1974～……)

『連赤総括論争』1・2(…)

『連合赤軍総括に向けて』I～IV(1975)

『赤軍 我々の綱領の概観』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1983)

『赤軍 我々の綱領の概観 山谷版』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1983)

『全国日雇・寄せ場労働者の団結のために』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)山谷地区委員会 1983)

『愛国心と日本プロレタリアート』(共産主義者同盟赤軍派(プロ革)・燎原社 1985)

●山谷統一労働組合(山統労)……………82年?

パンフレット『やられたらやりかえせ』NO1～4

●日本社会科学研究所(マルクス・レーニン主義、毛沢東思想).....79年・塩見孝也

機関誌『マルクス主義』第1号・2号(日本社会科学研究所 1979)

機関紙「労農通信」第1号～〇号(日本社会科学研究所 1979～)

●塩見孝也救援会.....83年

会報『風雪』(FUH-SETSU)創刊号～〇号(塩見孝也救援会 1983～)

『封建社会主義と現代 塩見孝也獄中論文集』(新泉社 1988)

『対談いま語っておくべきことー革命的左翼運動の総括』(塩見孝也・川島 豪・新泉社 1990)

『「リハビリ」終了宣言』(塩見孝也・紫翠出版 2002)

●自主日本の会(ぼとい).....96年塩見孝也

機関誌『春雷』第1号～〇号(自主日本の会・塩見孝也 1996～)

『さらば赤軍派 私の幸福論』(塩見孝也・オークラ出版 2002)

WEB「パトリ」(自主日本の会・塩見孝也・・)

●共産主義者同盟赤軍派マルクス・レーニン主義派.....75年・共産同赤軍派の分派・高原浩之

●共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派

機関誌『マルクス・レーニン主義』創刊号・2号(共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派 1975・1979)

機関紙「革命通信」第1号～32号(共産主義者同盟マルクス・レーニン主義派 1975～1979)

『再び連合赤軍問題に対する総括と提案』(共産同赤軍派 高原浩之 1972)

『破産した赤軍主義・ブント主義を清算しマルクス・レーニン主義のプロレタリア革命路線を獲得しよう』(1975)

『連赤総括の真の獲得に向けて』(共産同赤軍派マルクス・レーニン主義派(準) 1975)

『我々の綱領草案と解説』(高原浩之・共産主義者同盟(赤軍派)マルクス・レーニン主義編集委員会)

『マルクス・レーニン主義党を建設し、社会主義国、民族解放闘争と結合し、安保粉碎、日帝打倒、米帝追放プロ独社会主義革命へ！』(共産同M・L主義派 高原浩之)

●日本赤軍.....74年

機関誌『テルアビブ闘争支援委員会通信』第1号～2号(テルアビブ闘争支援委員会 1972)

『8・16 パレスチナ人民・インドシナ人民連帯日本二戦士追悼国際集会資料集』(テルアビブ闘争支援委員会 1972)

機関誌『世界革命戦線』VOL1～VOL6(世界革命戦線情報センター1973～1974)

機関誌『拒否戦線』VOL1～〇号(拒否戦線 1977～)

機関誌『人民通信』第1号～〇号(日本赤軍 1980～)

機関誌『SOLIDARITY JAPANESE RED ARMY BULLETIN』NO1～15？(1982)

機関誌『POLITICAL REVIEW』NO16～41(「SJRAB」の継続誌)

『JAPAN TODAY』(「SJRAB」「PR」の英文論集)

機関誌『人民革命』第1号～(PEOPLES REVOLUTION編集委員会 1990)

●movement 連帯.....

機関誌『movement 連帯』第1号～18号(連帯・ムーブメント連帯 2001～)

機関紙「連帯ニュースレター」第1号～7号

機関紙「変えよう！ニッポン」8号(「連帯ニュースレター」改題・ムーブメント連帯 2011～)

●オリオンの会.....

WEB「岡本公三支援・オリオンの会」

- 『わが愛わが革命』(重信房子・講談社 1974)  
『隊伍を整えよ 日本赤軍宣言』(世界革命戦線情報センター・査証出版 1975)  
『団結をめざして 日本赤軍の総括』(日本赤軍・人民新聞出版局 1978)  
『国際主義を实践しよう リッダ闘争9周年を迎えて』(日本赤軍 1981)  
『反核・軍縮の闘いを共に リッダ闘争十周年によせて』(日本赤軍 1982)  
『十年目の眼差から』(重信房子・話の特集 1983)  
『大地に耳をつければ日本の音がする』(重信房子・ウニタ書舗 1984)  
『日本赤軍 20 年の軌跡』(日本赤軍・話の特集 1993)  
『赤軍 RED ARMY 1969→2001』(文藝別冊・河出書房新社 2001)  
『日本赤軍私史 パレスチナと共に』(重信房子・河出書房新社・2009)  
『永田洋子さんへの手紙』(坂東国男・彩流社 1984)  
『赤い春 私はパレスチナ・コマンドだった』(和光晴生・集英社 2007)  
『日本赤軍とは何だったのか その草創期をめぐって』(和光晴生・彩流社 2010)  
『革命の季節 パレスチナの戦場から』(重信房子・幻冬社 2012)  
『丸岡 修自述 元・日本赤軍軍事指揮官告白書』(風塵社 2013)  
会報『風の人』準備1号～〇号(城崎さんと共に浮かぶ会 1996～)  
会報『ゆいき凜々』(浴田紀子さんを救援する会 1995～)  
会報『独報』第1号～〇号(和光晴生・・)  
会報『国境のない騎士団』VOL～〇(ハルの会＝和光晴生支援のために 2004)  
会報『泉水国賠通信』1～(発行・水田ふう)  
会報『泉水国賠つうしん』～  
会報『オリーブの樹』第1号～(重信房子さんを支える会・・)  
会報『さわさわ』第1号～12号(重信房子さんを支える会・関西 2007)  
通信誌『夢と希望』第1号～〇号(丸岡 修・・)

- .....
- 『日本を考える 三つの視点』(田宮高麿・ウニタ書舗 1983)  
『わが思想の革命 ピョンヤン 18 年の手記』(田宮高麿・新泉社 1988)  
『飛翔二十年―「よど号」でチョソンへ―』(田宮高麿、小西隆裕、若林盛亮、赤木志郎他・新泉社 1990)  
『遺稿 民族論』(田宮高麿さん追想出版委員会編・紫翠会出版 1996)  
『田宮高麿著作集第一集』(田宮高麿さん追想出版委員会編・紫翠会出版 1997)  
『よど号、朝鮮、タイそして日本』(田中義三・現代書館 2001)  
『新しい未来のために 長期下獄を前にして』(田中義三・「かりの会」2003)  
『田中義三遺稿追悼集』(田中義三遺稿追悼集刊行委員会 2007)  
『謝罪します』(八尾恵・文藝春秋 2002)  
『宿命 {よど号} 亡命者たちの秘密工作』(高沢皓司・新潮社 1998)

『高沢「宿命」に対する我々の見解』(かりの会ブックレット 1999)

『欧州留学生拉致問題についての見解』(赤木志郎・若林盛亮・2003)

●「日本を考える」編集委員会……………81年

季刊『日本を考える』第1号～30号(「日本を考える」編集委員会・代表田宮高麿 1981～1990)

●「日本の自主と団結のために！」の会……………90年

季刊『自主と団結』第1号～8号(「日本の自主と団結のために！」の会 1990～1995)

月間レター通信「お元気ですか」第1号～160号(「日本の自主と団結のために！」の会 1990～2003)

●アジア新時代研究所 ……………小西隆裕・03年

研究誌『アジア新時代と日本』創刊準備号～(アジア新時代研究所 2003～)

WEB「アジア新時代と日本」(2017～)

●かりの会・帰国支援センター……………02年

会報『かりはゆく』第1号～(「かりの会」帰国支援センター・2002～)

### (Ⅲ)関西フロント・関係……其の1

『ならずもの暴力宣言』(滝田修・芳賀書店 1971)

『只今潜行中・中間報告』(滝田 修・序章社 1974)

機関紙新聞「STRUGGLE」NO1～10(京大全学共闘会議 1969)

「六月三里塚闘争に勝利せよ！」(滝田修)『構造』廃刊号 1971)

「地下からの政治的ラヴ・レター」(滝田修)

機関紙「プラナリア通信」第1号～(滝田 修)

『北総台地を真赤な荒野に 1971.6 三里塚』(京大工学部戦線・文学部闘争委員会 1971)

●京都大学レーニン研究会……………71年

機関誌『ボルシェヴィズム通信』創刊号～第8号(京大レーニン研究会・新思想社 1970～1973)

機関紙「全世界を獲得するために」NO1～7(京大レーニン研究会)

機関紙「熱血のコマンド」NO1～NO3(明大レーニン主義研究会)

『報告・方針・資料』(レーニン研究会学生組織委員会 1973)

『「政治過程論」と我々の新しい出発点について』(古川 哲『ボルシェヴィズム通信』創刊号 1971)

『燃えるジンバブウェー南部アフリカにおける「コロニアル」「ポストコロニアル」経験』(吉國恒雄・晃洋書房 2008)

『佐藤政府を倒せ！武装闘争と大衆路線を結合・発展させよ！』(佐野茂樹 1971)

『帝国主義を包囲せよ！獄中論文集』(佐野茂樹 1972)

『朝鮮民族自決—統一と日本共産主義運動の原則的任務(上)』(佐野茂樹 1976)

●京都大学教養部戦線 (C戦線)……………

機関紙「闘う意志」創刊号～

●反戦共闘会議……………70年

機関紙「反戦通信」創刊号～12号(新思想社 1971～1973)

●京浜レーニン研究会

機関誌『党建設者』第1・2号(……1972)

●京都大学同学会……………72年再建・委員長一矢鳥久男→亀海影男→佐々木博道→市田良彦

機関誌『樹々のみどり』第1号～  
 機関誌『THE DOHGAKKAI』第1号～(英語版・仏語版)  
 機関紙「樹々のみどり」第1号～？(全学自治会同学会 1980～)  
 『自治あるいは民主主義と排外主義』(矢島久男・京都大学同学会 1973)  
 『討議資料 同学会の強化・発展にむけて』(『樹々のみどり』号外号・京都大学同学会中央執行委員会 1973)  
 ●同志社大学学友会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **47年～04年**  
 機関誌『同志社の葉』第1号～  
 機関誌『同志社評論』創刊号～3(同志社大学学友会百周年記念実行委員会 1967～1975)  
 機関紙「学友会通達」1号～30号(同志社大学学友会 ～1968)  
 『同志社人への我々の主張』(同志社一部学友会・二部学友会・・・各年度発行)  
 機関誌『RESITANCE』VOL1～3(法学部共闘会議 1979)  
 『RESISTANCE中間総括論集』(RESISTANCE中間総括論集編集委員会 1981)  
 DVD『同志社学生新聞 創刊号(1946)～569号(1994)』(同志社学生新聞局友会 2005)  
 『「同志社の葉」資料集 学友会の《主張》1957～2004』(同志社大学学友会残務整理委員会 2005)  
 『同志社大学 学友会関係年表』(「同志社大学学友会」資料編集委員会 2006)  
 『アジピラは語る 60年代同志社学生運動』(同志社大学 学友会倶楽部・同朋舎 2012)  
 ●同志社大学全学闘争委員会(全学闘)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **69年～77年**  
 機関紙「全学闘通信」NO1～9(同志社大学全学闘情宣局 ～1969)  
 機関紙「烽火」創刊号～(同志社大学全学闘 1969)  
 機関紙「戦闘団」NO1～17(同志社大学学術団・学術団安保闘争委員会 ～1969)  
 機関紙「戦報」第1号～(同志社大学全学闘・立命大学E戦線「戦報」編集委員会 1975～)  
 機関紙「カマラード」第1号～(京都大学「カマラード」編集委員会 1975～)  
 『われわれの革命—71～72年同大学費闘争2・1決戦統一被告団冒頭陳述集』(同大2・1決戦統一被告団 1975)  
 WEB『甲子園村だより—われわれの内なる(1970年代)』(松岡利康 2005～2007)  
 ●桃山学院大学連合戦線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 ●関西大学連合戦線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **73年**風月社(福岡信孝)  
 ●立命大学E戦線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 ●首都青年労働者社会主義研究会(首都社研)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **70年**  
 『労働者』(1975)  
 ●共産主義者同盟プロレタリア派・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **74年**  
 機関紙「プロレタリア」第1号～〇号(共産主義者同盟プロレタリア派)  
 ●反帝学生戦線(A I S F)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
 ●京都大学労働運動研究会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **70年**  
 機関誌『なにをなすべきか』第1号～(京都大学労働運動研究会 1970)  
 機関誌『全世界を獲得するために』VOL1～2(京大労働運動研究会 1971～1972)  
 『マルクスレーニン主義の復権に向けて』(労働運動研究会 1981)  
 『京大労研論文集1』(労働運動研究会 1982)

●三里塚闘争を支援する労働者の会（三支労）・・・・・・・・・・・・・・74年

『ブルジョア議会と選挙に対する戦闘的労働者はどのような態度をとるべきか』(1974)

『ポリシェビキを国会へ』(1974)

『鉄塔を人塔に』(1976)

『実力闘争を堅持して鉄塔決戦に勝利しよう』(三里塚木の根共闘学生連絡会議 1976)

●ひろば編集委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83年

Photo & News『ひろば』第1号～83号(ひろば編集委員会・ウニタ書舗・原一美 1983～1993)

『ひろば特別号 三里塚闘争史』(1987)

『ひろば 追悼 前田俊彦』(1993)

『マルクス主義を考える交流合宿 講演録』(原 一美、物江克男、上坂喜美・尼崎住民ひろば 1989)

**(Ⅳ)東京フロント関係**

●共産主義者同盟再建準備委員会・・・・・・・・・・・・・・70年 = 通称・共産同(情況派)

機関紙「ROT ローテ」第1号～9号(共産同再建準備委員会 1969～)

機関誌『ROT』第10号～21号(共産同再建準備委員会～1974)

機関紙「コンミュン」第1号～5号(共産同再建準備委員会大阪府委員会 1969～)

雑誌『情況』創刊号～(情況出版 1968～1976・1990～古賀 暹→大下敦史→横山茂彦)

『共産主義者同盟結成宣言(案)大衆政治同盟』(共産同再建準備委員会・ローテ編集局 1970)

『過渡期世界と階級闘争』(松本礼二・ローテ編集局 1970)

『共産主義者同盟(再建準備委員会)論文集』(ローテ編集局 1970)

●社会主義学生同盟・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

『七二年沖縄返還＝第三次琉球処分と全軍労働争』(一条信治編・社会主義学生同盟 1970)

●全都労働組合活動家会議(都労活)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70年

機関誌『全国労活(準)ニュース』No1～2(1970)

機関誌『都労活資料集 都労活』NO1～No78(1970～1975)

●東京都労働組合活動家会議(都労活)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・佐藤芳夫

機関紙「都労活ニュース」NO3(「全国労活(準)ニュース」改題)～4

機関誌『労活'80』NO1～(1979～)

●全日本労働組合活動家会議(全労活)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72年

機関紙「労活ニュース」NO5(「都労活ニュース」改題)～78(1970～1975)

機関紙「全労活ニュース」NO79(「労活ニュース」改題)～NO551・552終刊(1975～1994)

●全都学生活動者会議

●関東労働者共同闘争委員会

●共産主義者同盟・・・・・・・・・・・・・・74年 = 通称・共産同(遊撃派)～共産同再建準備委の分派

機関誌『遊撃』創刊号(1974)

機関紙「ボルシェヴィキ」創刊準備号(1975)

機関誌『ボルシェヴィキ』創刊準備号・第1号(共産主義者同盟遊撃編集委員会・遊撃社 1975・1976)

機関紙「遊撃」第2号(機関誌『遊撃』継続)～56号(共産主義者同盟・遊撃社 1975～)

機関紙「革命の旗」第 57 号(創刊準備号)

●**共産主義革命戦線(CRF)**……………**76年**

機関誌『内戦』創刊号～(1977)

『鉄塔決戦へ怒涛の進撃を』(1977)

●**「遠方から」編集委員会**……………**74年=通称・遠方から派～共産同再建委の分派**

機関誌『遠方から』第1号～5号(松本礼二事務所 1974～1980)

『遠方から』別冊論文集—「新左翼」15 年の軌跡と終焉—(1975)

機関紙「遠方からの手紙」第1号～〇号(松本礼二事務所 1974～)

『遠方から 生協・生活共同運動重要文献集その1』(遠方から編集委員会 1976)

『〈第三勢力〉の選挙教程リバイアサンをわが手に』(S・オルフェス・源流社 1975)

『松本礼二＝高橋良彦遺稿・追悼集』(彩流社 1988)

●**共産主義者同盟(革命の旗)**……………**79年=通称・共産同(革命の旗派)～共産同遊撃派+共産同ML派**

機関誌『長征』第1号・2号(共産主義者同盟(革命の旗)・赤流社 1979)

(機関紙「革命の旗」57号(創刊準備号)—「遊撃」56号継続)

機関紙「革命の旗」創刊号～47・48 合併号(共産主義者同盟(革命の旗)・赤流社 1979～…)

『〈革命の旗〉日韓重要論文集』(共産主義者同盟(革命の旗)機関紙局 1980)

『革命的反戦闘争を構築するために』(「革命の旗」臨時増刊(通巻 18 号 1980)

●**共産主義者同盟三多摩地区委員会**……………**68年**

機関誌『叛旗』第1号～4号(共産同三多摩地区委員会 1968～1970)

『70年代の展望と当面の任務』(共産同三多摩地区委員会)

●**共産主義者同盟**……………**71年～76年=通称・共産同(叛旗派)**

機関誌『叛旗』第5号～10号・特別号(共産主義者同盟・蒼氓社 1971～1976)

『叛旗』特別号(1975)

『叛旗 6・3 政治集会特集号』(1971・8・31)

『叛旗 5・13 沖縄討論集会特集号』(1972・7)

機関紙「叛旗」第1号～116号(共産主義者同盟・蒼氓社 1971～1976)

機関紙「希望」第1号～5号(共産主義者同盟関西地方委員会 1971～1976)

『〈かくめい〉への越境 共産主義者同盟政治論文集 I』(共産同「叛旗」編集委員会 1972)

『戦闘の指示向線 過渡期世界と綱領創出の基礎』(三上治・現代思潮社 1972)

『政治的知識人の典型—谷川雁論—』(吉本龍明/テック・グループ労働組合 1972)

『自立と日常 更に、また現在より起て』(吉本隆明・神津 陽 1974)

『蒼茫の叛旗』(神津 陽・現代思潮社 1970)

『かくめいの原園』(神津 陽・現代思潮社 1971)

『焰への確執』(神津 陽・現代思潮社 1971)

『神津陽 未刊行論考集』(神津陽・JAC出版 2020)

『幻想の革命の過渡へ』(三上 治 1975)

『何を始めるべきか』(三上 治 1976)

『大同無道 再論』(三上 治 1976)

『叛旗派 武装闘争小史 高橋さんの思い出』(共産同叛旗派互助会・総合企画 2012)

『〈叛旗〉全縮刷版』(其刊行委員会・総合企画 1973)

●**全国反帝戦線連合**

機関誌『呐喊』第1号～4号(全国反帝戦線連合・蒼氓社)

●**共産主義者同盟叛旗派互助会(神津 陽).....77年**

○**三上 治**

雑誌『乾坤』第1号～9号(三上 治・乾坤社 1976～1982)

雑誌『流砂』01号～(栗本慎一郎、『流砂』編集委員会・批評社 2007～)

『幻想の革命 党派思想の彼岸へ』(三上 治・三一書房 1978)

『戦後世代の革命』(三上 治・彩流社 1978)

●**共産主義者同盟(ボルシェビキ・レーニン主義派).....69年**

『「党の革命」への更なる推進に向けて』(佐々木和雄 1970)

『「ボルシェビキ派」政治組織総括』(佐々木和雄 1970)

●**社会主義学生同盟早大全学委員会.....70年・静岡順二(内村〇〇・社学同早大支部多数派)**

機関紙「プロレタリア独裁」第1号～

●**共産主義者同盟(戦旗派).....70年=通称・共産同(日向派)**

●**戦旗・共産主義者同盟.....80年**

●**共産主義者同盟.....93年**

機関誌『共産主義』第14号～16号(共産主義者同盟・戦旗社 1971～1972)

機関誌『理論戦線』第13号～43号(戦旗・共産主義者同盟・戦旗社・～1995)

機関紙「戦旗」第250号～824号(戦旗・共産主義者同盟・戦旗社 1970～1994)

機関紙「SENKI」第825号(「戦旗」改題)～1246号(BUND・せんき社 1995～2007)

獄中新聞(機関誌)「夜明けよ急げ」第1号～17号

●**共産主義青年同盟.....69年**

機関誌『理論戦線』第10号～12号(共青同全国委員会・戦旗社 1970～)

●**共青同弾圧対策委員会**

機関誌『ボルシェヴィキ通信』(ぼる通)NO1～6?

●**日本反帝戦線(議長・米田隆治).....70年**

機関紙「革命の前夜」第1号～〇号(日本反帝戦線中央書記局...)

●**社会主義学生同盟.....80年**

機関誌『若きボリシェヴィキ』第1号～5号(戦旗社・開拓社 1980～1990)

●**全国労働者共闘会議(労共闘).....議長一笠聖華一郎・73年**

機関誌『青年労働者』第1号～〇号(全国労働者共闘会議...)

●**高校生叛軍共闘会議(高叛共闘).....**

機関誌『嵐の中へ』

●**叛軍行動委員会.....**

『過渡期世界の革命』(日向翔・戦旗社 1972)  
『ブント主義の再生』(日向翔・戦旗社 1974)  
『人民の戦旗をかかげて』(荒 岱介・戦旗社 1977)  
『武装する蒼生』(荒 岱介・戦旗社 1982)  
『何を守り何を発展させるべきか』(中森 昇・戦旗社 1982)  
『SENKI』(英文パンフレット・戦旗社 1983)  
『北西風が党を鍛える 戦旗・共産同闘いの軌跡第1部・第2部』(戦旗社 1984)  
『闘う労働者—マルクス主義学習ノート』(戦旗社 1985)  
『戦旗派理論の基礎』(戦旗派理論の基礎編集委員会・戦旗社 1986)  
『過渡期世界の革命Ⅱ』(荒 岱介・戦旗社 1986)  
『武装を内包する革命党』(荒 岱介・戦旗社 1987)  
『日帝打倒・三里塚決戦』(中森 昇・戦旗社 1987)  
『戦犯天皇=皇太子 訪沖阻止闘争総括』(共産主義者同盟 1988)  
『天皇代替わり-Xデーを撃て』(共産主義者同盟・戦旗社 1988)  
『新左翼運動の論点』(高山 亭・戦旗社 1989)  
『革命的实践の論理』(緒方哲生・戦旗社 1989)  
『人民的総反抗の時代』(荒 岱介・戦旗社 1991)  
『ブントの新改憲論 民衆的オルタナティブを求めて』(大崎 洋・戦旗社 1993)  
『黒田寛一の唯物論』(文人正編著・せんき社・)  
『ブントの連赤問題総括』(荒 岱介編・実践社 1995)  
『反体制的考察 1980年代論文集』(荒 岱介・実践社 2003)  
『マルクス・ラジカリズムの復興』(荒 岱介・御茶ノ水書房 1993)  
『左翼思想のパラダイム・チェンジ』(荒 岱介・実践社 1995)  
『環境革命の世紀へ』(荒 岱介・社会評論社 1999)  
『新左翼とは何だったのか』(荒 岱介・幻冬舎 2008)  
『国家とマルチチュード』(渋谷 要・社会評論社 1999)  
『ロシア・マルクス主義と自由』(渋谷 要・社会評論社 2007)  
『アウトノミーのマルクス主義へ』(渋谷 要・社会評論社 2008)  
『40年目の真実 日石・土田爆弾事件』(中島 修・創出版 2011)

●**ブント(BUND)**.....**97年**

雑誌『理論戦線』第44号～62号(実践社 1995～2000)

雑誌『理戦』第63号(『理論戦線』改題)～88号(実践社 2000～2007)

●**アクティオ・ネットワーク**.....**08年・ブント(BUND)の改称**

●**一般財団法人アクティオ**.....**2011年**

機関紙「Actio」第1247号(「SENKI」改題)～1339号？

(BUND→アクティオ・ネットワーク・財団法人アクティオ 2007～)

●**共産主義者同盟(戦旗派)**.....**73年=通称・共産同(西田派)～共産同(戦旗派)の分派**

機関誌『同志』第1号～7号〈共産主義者同盟(戦旗派)・戦旗社〉

機関紙「戦旗」第340号～895号〈共産主義者同盟(戦旗派)・戦旗社 1973～2004〉

『共産主義・共産同(戦旗派)重要論文集』第1巻(戦旗社 1983)

●**全国労働者共闘**

機関誌『青年労働者』第1号～第2号

●**日本反帝戦線(議長・菊池新一)**

機関誌『反帝戦線』第1号～2号(日本反帝戦線・戦旗社 1979・1980)

●**共産同(戦旗派)三里塚現闘団**

機関紙「三里塚の炎」

●**関東・関西沖縄解放同盟**

『沖縄、差別を砕け』(1973)

『皇太子沖縄上陸決死阻止』(1975)

●**沖縄通信編集委員会**

機関誌『沖縄通信』第1号～6号(1972?)

●**戦犯天皇糾弾闘争を支持する会**

機関誌『ひめゆりの炎』創刊号(1975)機関誌『姫百合—白銀公判闘争勝利』1号・2号(1976～)

●**天皇・皇太子沖縄上陸阻止・海洋博粉碎沖縄—「本土」(日本)現地共闘(1975～)**

機関紙「あだん」第1号～

●**海洋博粉碎沖縄—「本土」実行委員会・本部闘争団(1975～)**

機関紙「赤土」第1号～

●**叫革青年同盟・全国部落青年活動者会議……………81年**

機関誌『叫革通信』第1号～8号

『狭山上告審闘争の歴史的勝利をかちとれ』(叫革通信特別号・全狭連事務局)

●**侵略反革命と闘う障害者青年同盟……………81年**

機関誌『炎(ほむら)』創刊号～

●**共産主義者同盟国際主義派……………松原博志—73年・共産同(戦旗派)の分派**

機関紙「プロレタリア通信」第1号～(共産同国際主義派 1973～)

『案山子みたいながらくた頭の中から掃除せよ』(共産主義者同盟国際主義派 1973)

『前進のために』(1973)

『革命戦争の邁進か 革命戦争への敵対か』(松崎 茂・共産主義者同盟国際主義派 1974)

●**共産主義者同盟北海道委員会……………城山 徹—73年・共産同(戦旗派)の分派**

●**北海道共産主義者同盟**

●**共産主義者同盟(プロレタリア戦旗編集委員会)**

機関誌『プロレタリア戦旗』第1号～31号〈共産主義者同盟(プロ戦編集委)〉

●**共産主義者同盟《地鳴り》団……………76年・佐々木和雄**

機関誌『地鳴り』第1号～3号(共産主義者同盟《地鳴り》団 1976～1978)

機関紙「地鳴り」第1号～15号(1976～1989)

機関誌『地鳴り』(第2巻)第1号～20号(蒼志舎 1980～1989)  
『金日成・金正日体制と東アジア』(渥美文夫・現代企画室 2007)  
『排外愛国のナショナリズムー1930年代を振り返る』(渥美文夫・世界書院 2013)

●共産主義者同盟東京南部地区委員会……………さらぎ徳二・70年=通商・共産同(蜂起派)  
機関誌『ヴィボルグ』第1号～(杉田玄白・道場公基・ナイル 1969～)  
機関誌『鉄の戦線』第1号(1970)

●共産主義者同盟「鉄の戦線」編集委員会……………71年  
機関誌『鉄の戦線』第2号～3号(1971～)

●共産主義青年同盟……………71年  
機関紙「蜂起」15号(首都反帝戦線機関誌『蜂起』継続 1972)

●共産主義者同盟……………72年  
機関誌『鉄の戦線』第4号～6号(共産主義者同盟 1972～1984)  
機関誌『共産主義』第13号～18号(共産主義者同盟・蜂起社 1995～2002)  
機関紙「蜂起」第16号～342号(共産主義青年同盟機関紙「蜂起」継続 共産主義者同盟・蜂起社・)  
機関紙「赤星」(「蜂起」改題)NO1(343)～NO77(共産主義者同盟・蜂起社)  
機関紙「Red Stars」NO73～(2017～)

機関誌『バスターユ』第1号～(北熊本自衛隊爆取裁判闘争を支援する会 1975～)  
共同理論誌「マルクス・レーニン主義研究」第1号～3号(共産同蜂起派・日本共産党革命左派・現代理論社 1987～)  
『討議資料 明治維新論・天皇制権力論の深化にむけて』(蜂起社)

●蜂起反帝戦線  
機関誌『国際旅団』第1号～〇号(蜂起反帝戦線中央学生組織委員会 1971～)  
機関誌「蜂起」NO1～14(首都反帝戦線・共産同鉄の戦線編集委員会 1971～)

●猿山一赤堀を闘う首都圏実行委員会  
機関誌『煉獄の病棟』NO1～3(1980)  
『ソ同盟と人間疎外』(右田万紗人・1963)  
『「資本論」点前(上巻)』(右田万紗人・リベラシオン社 1965)  
『世界暴力革命論』(さらぎ徳二・リベラシオン社 1969)  
『先行性ファシズム論』(さらぎ徳二・戦旗社 1969)  
『日本ファシズム論』(さらぎ徳二・蜂起社 1974)  
『宇野経済学体系の批判』(さらぎ徳二・季節社 1978)  
『天皇論』(さらぎ徳二・蜂起社 1980)  
『社会主義と過渡期国家』(さらぎ徳二・蜂起社 1982)  
『理説の仏教』(さらぎ徳二 1988)  
『日本資本主義の原像』(さらぎ徳二・世界書院 1999)  
『革命ロシアの挫折と崩壊の根因を答う』(さらぎ徳二編・築地電子活版 2002)  
『さらぎ徳二著作集』(全七巻)(情況出版 2007～)  
『21世紀 世界は変えられる！世界に響く革命のプレリュード』(原 隆・社会評論社 2016)

●共産主義者同盟蜂起左派……………羽山太郎一・73年・共産同盟蜂起派の分派

機関誌『蜂起左派』第1号～6号(共産主義者同盟蜂起左派・赤岩社 1973～1975)

『論集 未完のプロレタリア軍事』VOL1・2(1976)

『ブント』(羽山太郎・西南社 1980)

『日本農業の復権』(羽山太郎・豊島文化社 2013)

『ブント—その経験の一断面—』(羽山太郎・JCA出版 2019)

●共産主義者同盟神奈川県委員会……………70年～12・18 フントの分裂

機関誌『左派』第1号・2号・再刊1号(共産主義者同盟神奈川県委員会 1970～1972)

『資本主義世界の現在・マルクス主義復権宣言』(旭凡太郎・彩流社 1998)

●90年代の共産主義を考える研究会……………90年

『研究会報』NO2～17(90年代の共産主義を考える研究会・1991～2002)

●プロレタリア通信編集委員会……………86年

●共産主義者同盟(プロレタリア通信編集委員会)……………

機関紙「プロレタリア通信」第1号～71号(「プロレタリア通信」編集委員会・豊島文化社 1981～2017)

●共産主義者協議会……………09年・共産度蜂起派+共産同首都圏委+共産同フ口通信派

機関紙「赤いプロレタリア」第1号～51号(共産主義者協議会・レッド・プロレタリア社 2009～)

●共産主義運動年誌編集委員会……………00年

『共産主義運動年誌』第1号～(共産主義運動年誌編集委員会・2000～)

「共産主義運動年誌編集委員会事務局通信」第1号～82号

「共産主義運動年誌 別冊論争」NO1～(2018～)

(V)関西フント・関係……………其の2

●共産主義者同盟東北地区委員会……………71年

機関誌『ANTARES』第1号～

●共産主義者同盟(RG)……………榎原 均・高見沢洋一・三谷 進一71年～12・18 フントの分裂

機関誌『共産主義』第16号～21号(共産主義者同盟(RG)・木せい社 1973～1994)

機関紙「赤報」第1号～49号(共産主義者同盟(RG)・木せい社 1971～1990)

『RG資料集』第一集・二集(共産主義者同盟(RG) 1979・1984)

『「資本論」の復権』(榎原 均・鹿岩社 1978)

『ソビエト経済学批判』(榎原 均・四季書房 1982)

『価値形態・物象化・物神性』(榎原 均・資本論研究会 1990)

「70年の総括と新しい社会運動の展望」(榎原 均『情況』掲載・情況出版 1999)

『「資本論」の核心』(情況新書)(榎原 均・情況出版 2014)

『社会システム研究』VOL1～(社会システム研究所 1999～)

会報『ASSB・Alternative Systems Study Bulletin』創刊号～(資本論研究会 1993～)

●VZ—58……………72年

機関誌『撃鉄』第1号～(VZ—58・1972)

「デイル・ヤシン作戦勝利万歳！」(VZ—58来見 弘『査証』NO6・査証出版 1972)

『天よ、我に仕事を与えよ・奥平剛士遺稿』(田畑書店 1978)

『水平線の向こうに・ルポルタージュ檜森孝雄』(「水平線の向こうに」刊行委員会・風塵社 2005)

●「共産主義通信」編集委員会…………… 77年

機関誌『共産主義通信』第1号～

●火花編集委員会…………… 79年

機関誌『火花』創刊号～16号(1979～1982)

●共産主義者同盟(火花)…………… 82年

『火花』第17号(特別号)―第一回代表者会議特集(旧綱領・戦術テーゼ収録)(創流社 1982)

『火花』第29号(特別号)―われわれの綱領について(5分冊・創流社 1983)

「共産主義者同盟(火花)綱領」(WEB1994 改定)

「〈戦術・組織総括〉われわれの新たな活動方向」(WEB1994)

『火花』綱領改定特別号(創流社 1994)

『教組運動によせて』(1985)

『ロシア革命の教訓』(1985)

『新たなシンターナショナル・ビュローをめざして』(1985)

『綱領改定/戦術・組織総括関連「火花」論文集Ⅰ』ソ連・東欧・中国問題(創流社 1994)

『綱領改定/戦術・組織総括関連「火花」論文集Ⅱ』商品・貨幣の廃絶をめぐる(創流社 1994)

『綱領改定/戦術・組織総括関連「火花」論文集Ⅲ』新しい運動・新しい組織について(創流社 1994)

『綱領改定/戦術・組織総括関連「火花」論文集Ⅳ』利子生み資本の運動について(創流社 1994)

機関誌『火花』第17号～(共産主義者同盟(火花)・創流社 1979～・WEB2002～)

●プロレタリア行動委員会(PAC)……………

『警察・官僚支配と対決し、プロレタリア革命を準備しよう!』(?)

●戦士編集委員会……………

機関誌『戦士』第1号～第13号?(1988～)

『学生運動の階級的発展をめざそう!』(1987)

●共産主義者同盟(全国委員会)……永井武夫一71年=通称・共産同(烽火派)～12・18 フントの分裂

機関誌『鉄鎖を砕け』NO1(共産主義者同盟全国委員会首都圏委員会 1972)

機関紙「烽火」第265号(「戦旗」継続)～585号(中央戦旗社 1971～2004)

『党基本文献集』(1・2)(共産主義者同盟全国委員会・大阪戦旗社 1985・1997)

機関誌『「白衣の監獄」を解放するぞ』第1号～6号(平和台病院労働組合)

『「白衣の監獄」を解放するぞ! 平和台病院闘争の記録』(平和台病院労働組合……柘植書房 1977)

●反帝戦線(全国委員会)……………

●関西救援会・地下水道編集委員会

機関誌「呐喊」第1号～5号(関西救援会 1970～)

機関誌「地下水道」(「呐喊」改題)6号～第2審公判特集(関西救援会 1970～1977)

●北大阪叛軍行動委員会

機関誌『号砲』創刊号(1971)

●反帝戦線(全国委)三里塚現闘団

『三里塚鉄塔決戦勝利』(1971)

機関誌『紅軍』(1975)

●狭山差別裁判糾弾闘争実行委員会

『5・23 闘争の大爆発を組織せよ』(1970)

『狭山差別裁判糾弾闘争勝利に向けて』(1973)

『我々の基本的視点と戦いの方向』(1974)

●片平闘争を支援する会

『府は私を雇え一片平闘争資料集』(1975)

『「障害者」差別解雇弾圧裁判糾弾』(1979)

『「障害者」の労働権を奪いかえせ!』(1980)

●11/19 北大阪武装占拠闘争被告団

機関誌『密集陣』第1号～3号(1973)

●三里塚闘争支援委員会(準)三里塚白樹団結小屋……………81年

機関紙「三里塚通信」第1号～3号

●反帝戦線(全国委員会)沖縄地方委員会……………

機関紙「赤琉」第1号～2号

●「赤琉」編集委員会……………81年

機関紙「赤琉」第3号～

●全国労働者政治委員会(全国労政)……………83年

『労働者政治委員会 行動綱領(草案)』(労働者政治委員会 1983)

●共産主義者同盟全国委員会(マルクスレーニン主義派)・伊集院…首都圏委員会+東北地方委員会

～74年共産同全国委の分派

機関紙『マルクスレーニン主義通信』1号～142号(共産同全国委員会(マルクスレーニン主義派)1975～1988)

『党建設のために‘76』NO1(共産同全国委員会「党建設のために」編集委員会 1976)

機関誌『鉄鎖を砕け』創刊号・2号(共産同全国委員会(M・L主義派))

●共産主義者同盟全国委員会東北地方委員会……………

機関誌『若きボルシェビキ』NO1～10(共産同(全国委員会)東北地方委員会…～1975)

●共産主義者同盟全国委員会東北地方委員会……………75年・共産同全国委(ML主義派)の分裂

機関紙「赤炎」第1号～4号(共産同(全国委員会)東北地方委員会…)

●共産主義者同盟全国委員会(ボルシェビキ)・加納英二・本田篤紀・生田民生

…75年・共産同全国委の分派

機関誌『マルクス主義』第1号・2号(共産同全国委員会(ボルシェビキ)1975)戦旗社 1975～

機関紙「プロレタリアの旗」第1号～〇号(共産同全国委員会(ボルシェビキ)・戦旗社 1975～)

機関紙「労働者通信」第1号～2号(全国労働者政治委員会(準)・戦旗社 1975)

機関紙「共学同通信」第1号～3号(共産主義学生同盟(準)・戦旗社 1975)

●共産主義者同盟(統一委員会)……………04年・共産同全国委+共産同(戦旗派)

機関紙「戦旗」第1217号～(共産主義者同盟統一委員会・戦旗社 2004～)

機関誌『共産主義』第17号(共産同戦旗派16号の継続)～(共産同統一委員会・戦旗社 2012～)

『共産主義者同盟(統一委員会)綱領・規約集』(戦旗社 2004)

●日米アジア支配に反対しアジア民衆の連帯を推進する日本連絡会議(アジア共同行動(AWC)日本連絡会議)92年

機関紙「全国連絡会ニュース」第1号～

●共産主義者同盟……76年=通称・共産同(紅旗派)7口独裁編集委+共産同全国委(ボリシェヴィキ派)

機関誌『紅旗』第1号・2号(共産主義者同盟・紅旗社)

機関紙「紅旗」第1号～〇号(共産主義者同盟・紅旗社)

機関紙「紅旗」第12号(停刊・加納派 1975)

『第一回大会報告決定集』(1976)

『第二回大会報告決定集』(1977)

機関誌『婦人解放通信』NO1(共産主義者同盟婦人解放委員会 1976)

『寄せ場は社会主義を求める プロレタリア革命と釜ヶ崎解放の戦士 同志徳野稔暗殺糾弾追悼集』(紅旗社 1976)

●共産主義者同盟……………81年=通称・共産同(赫旗派)一共産同紅旗派+共産同革命の旗派

機関誌『赫旗』第1号・2号(共産主義者同盟・赤路社 1982)

機関紙「赫旗」第1号～211号?(共産主義者同盟・赤路社 1982～1999)

機関紙「赫旗」〇号～〇号(共産主義者同盟・生田派 1985～1986)

『社共に代わる革命的労働者党創建にむけた わが同盟の提案』(共産主義者同盟 1982)

●マルクス・レーニン主義学生同盟(準備会)……………

機関誌『ML学同建設のために』創刊号～〇号

●社会主義研究会……………88年生田あい・高原浩之・小島四郎

機関誌『2001』VOL1、VOL2(1988～1990)

●共産主義者の建党協議会……………86年=通称・建党協・いいだもも・生田あい・山川明夫

共同機関誌『嵐に立つ』第1号～(1984～)

機関紙「建党」創刊号～102号(共産主義者の建党協議会・セコップ 1986～1999)

『共産主義者 奔走す』(生田あい編・論創社 1999)

●共産主義者協議会・未来(コム・未来)……………99年・建党協議会+ワーカーズ+「国際主義」編集会議

機関紙「未来」第1号～88号(協同・未来～未来政策研究機構 1999～2008)

『ソ連崩壊とマルクス主義』(室井健二 図書出版 1996)

『省みて前へプログラム協議の発展のために一』(未来ブックレット①室井健二 2002)

『新コミュニスト宣言』(いいだもも・生田あい・仲村 実他・社会評論社 2003)

『誤謬 党と国家一体化の「神話」』(生田あい・論創社 2001)

『検証 党組織論』(生田あい他・社会評論社 2004)

●革命21……………11年・コム・未来+聞生コミュニスト同志会

機関紙「コムズ」第1号～(革命21 準 2008→革命21・2011～)

●アソシエ21……………伊藤誠・古賀 遼・橋本盛作・99～09年

『アソシエ 批判的知性の協働をめざす』第1号～22号(アソシエ21・御茶の水書房)

「アソシエ21ニューズレター」0号～123号(アソシエ21・1999～2009)

●**変革のアソシエ**……………**09年**

『変革のアソシエ』NO1～(「変革のアソシエ」編集委員会・社会評論社)

●**共産主義者同盟(赫旗)首都圏委員会**……………**83年**・共産同赫旗派の分派

機関誌『論叢』第1号～4号(共産同(赫旗)首都圏委員会 1983～1987)

●**共産主義者同盟首都圏委員会**……………**87年**

機関誌『風をよむ』第5号(改題『論叢』)～6号(共産主義者同盟首都圏委員会 1987～2008)

機関紙「風をよむ」第1号～85号(共産主義者同盟首都圏委員会・ウインドベル・ファクトリー1988～)

機関紙「radical chic」23号～(共産同首都圏委員会 2018～)

『川音勉論集 新たなる出立に際して』(共産同首都圏委員会 2015)

●**ラディカル・シック編集委員会**……………**2015年**

機関紙「radical chic」創刊号～22号(2015～2018)

●**沖縄の自立解放闘争に連帯し反安保を闘う連続講座(沖縄講座)**……………

●**Marxism&Radicalism 研究会(M&R研究会)**……………**91年**

会報『MARXISM & RADICALISM REVIEW』創刊号～29・30合併号(M&R研究会 1991～)

●**労働者共産党**……………**99年**・共産同赫派+日本共産党ML派

機関誌『プロレタリア』第1号～(労働者共産党・新世界通信 2001～2007)

機関紙「プロレタリア」第356号(統合1号)～(労働者共産党・新世界通信 1999～)

『労働者共産党結成大会 報告・決定集』(新世界通信 1999)

『資本主義終焉の実相 新時代への展望』(松平直彦・同時代社 2012)